

# No. 1299

## 火災シーズンを前に

— 東京・練馬 —

本格的な冬を迎え、火災の多く発生する季節を迎えました。火災シーズンを前に秋の火災予防運動が11月26日から一週間全国一斉に行われました。東京練馬区の消防署ではミス東京の桑原由美子さんを11月26日、一日署長に迎え、地域住民を対象とした総合防災訓練を行い、火災予防を呼びかけました。

メイン会場となった練馬区立北町中学校の校庭には消防署員と付近の10町会の住民合わせて3,000名が参加、はじめにミス東京の桑原さんが消防各部隊を検閲。各町会代表による防火コンクールも行われました。これは火災発生を知らせる大声競争。つづいて消防署と地域住民が一体となった防災演習が行われました。次々に日頃の訓練が披露されます。東京だけでも昨年一年間に7,000件の火災が発生、焼死者は123人にのぼっています。貴重な生命と財産を火災から守るため、火の取り扱いには十分注意したいものです。

## 大平新内閣スタート

12月1日、自民党は東京・日比谷会館で第35回の臨時党大会を開き、先の予備選で一位になった大平正芳氏を新総裁に選出した。大平氏は「私は全党的な立場に立ち、公正にして明朗な党運営を図り、すでに手を染めた党改革を推し進めて、清新にして活力ある党の再生を期する決意である」と挨拶。12月5日、午前9時、福田首相は臨時閣議を開き、総辞職。臨時国会で大平氏の首相選出の段取りになった。しかし、幹事長の人選で大平氏と福田氏の間ズレが生じ、また一方、青嵐会等も人事問題で難色を示し、午後2時からの衆院本会議は大幅に遅れた。野党側が投票を一本化する情勢になく、最終的に大平氏が首相に指名され、新内閣のスタートを切ることは間違いないものの、大平新内閣は難産のスタートとなった。